

令和三年度県立高等学校入学者選抜学力検査

国語

注意

- 1 問題の①は放送による検査です。問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は表紙を入れて八ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 3 受検番号は、検査開始後、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 4 机の上に置けるものは、受検票・鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・鉛筆削りです。
- 5 筆記用具の貸し借りはいけません。
- 6 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 7 印刷がはつきりしなくて読めないときや、筆記用具を落としたときなどは、だまって手をあげなさい。
- 8 「やめなさい」という合図ですぐに書くのをやめ、筆記用具を置きなさい。

答えの書き方

- 1 答えは、問題の指示に従って、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 2 答えはていねいに書きなさい。答えを書き直すときは、きれいに消してから書きなさい。
- 3 答えを漢字で書く場合は、楷書かいしょで書きなさい。

1 放送による検査 (16点)

【資料】

資料1

花壇に植えたい花
についてのアンケート
環境委員会

○花壇整備の目的

・花を見た人に

ため。

○植えたい花はどれですか？

下から一つ選んでマルをつけて
ください。

(・ ペチュニア
・ マリーゴールド
・ パンジー)

アンケートへのご協力
ありがとうございました。

資料2

生活委員会

朝の挨拶運動標語
応募用紙

年 組 名 前

2 次の(1)、(2)に答えなさい。(14点)

(1) 次のア～オの――の漢字の読みがなを書きなさい。また、カ～コ
の――のカタカナの部分かじよを楷書で漢字に書き改めなさい。

ア 丹精にこめて咲かせた花。

イ 全ての情報を網羅わした資料。

ウ 世界最古の鑄造ちゆうぞう貨幣を見る。

エ 観光資源が街の発展を促うす。

オ 元旦には近くの神社に詣までる。

カ ジュンジョに立てて考える。

キ 内容をカンケツにまとめる。

ク この辺りは日本有数のコクソウ地帯だ。

ケ 堂々とした姿で開会式にノゾむむ。

コ きつい練習にもネをあげることはない。

(2) 次のア、イの——のカタカナの部分に漢字で表したとき、その漢字と同じ漢字が使われている熟語を、それぞれあとの1～4の中から一つずつ選び、その番号を書きなさい。

ア 月の満ちかけを観察する。

- 1 出欠 2 凶書 3 懸命 4 駆使

イ 質問ジコウを手帳にまとめる。

- 1 巧妙 2 項目 3 効果 4 郊外

3 次の文章を読んで、あとの(1)～(3)に答えなさい。(12点)

陰陽師(注1)のもとなる小童(こわら)こそ、いみじう物は知りたれ(注2)。祓(はら)などしにい

たれば、祭文(注3)などよむを、人は猶(なほ)こそきけ、ちうとたち走りて、「酒、水、

いかけさせよ」ともいはぬに、しありくさまの、例しり、いささか主に

物(もの)いはせぬこそ、うらやましけれ(注4)。さらんものがな使はん、とこそおぼゆれ(注5)。

——『枕草子』より——

(注1) 陰陽師……暦を仕立てたり占いや土地の吉凶などをみたりする役人。

(注2) 祓……神に祈って罪・けがれを清め、災いを除くこと。また、その行事。

(注3) 祭文……節をつけて読んで神仏に告げる言葉。

(1) いはせぬとありますが、すべてひらがなで現代かなづかいに書き改めなさい。

(2) 知りたれ(注1)、よむ(注2)の主語の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 (ア) 陰陽師 (イ) 小童 2 (ア) 陰陽師 (イ) 作者
- 3 (ア) 小童 (イ) 陰陽師 4 (ア) 小童 (イ) 作者

(3) さらんものがな使はん、とこそおぼゆれとありますが、ある生徒が、作者がそう思った理由を次のようにまとめました。□□に入る「小童」の具体的な様子を、二十字以内で書きなさい。

作者は、「小童」が陰陽師に指示されなくても□□様子を見て、自分もそのような気のきく者を使いたいと思ったから。

4

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)に答えなさい。(22点)

5

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)に答えなさい。(26点)

6 ある中学校で、国語の時間に二つの名言を読み、「生き方」というテーマで、意見文を書くことになりました。次の【名言】と【意見の観点】を読んで、あとの(1)～(3)に従って文章を書きなさい。(10点)

【名言】

A 過去も未来も存在せず、あるのは現在という瞬間だけだ。

トルストイ

B 過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望をもつ。

アインシュタイン

【意見の観点】

AとBの「生き方」の違い

- (1) 題名を書かないこと。
- (2) 二段落構成とし、それぞれの段落に次の内容を書くこと。
 - ・ 第一段落では、【意見の観点】をもとに、気づいたことを書くこと。
 - ・ 第二段落では、気づいたことをふまえて、自分の意見を書くこと。
- (3) 百五十文字以上、二百文字以内で書くこと。